

第2学年 道徳学習指導案

日時：平成29年11月7日(火)

場所：2年1組教室(2階)

授業者：野原 とみ

児童数：22名

1 資料名：「おじいさんの絵」

(出展：広島県教科用図書販売株式会社)
 善悪の判断, 自律, 自由と責任 A- (1)

2 指導の立場

(1) 児童の実態

本学級では、知識として、善悪の判断はできる子が多い。しかし、心の弱さから友だちの誘いに簡単に乗ったり、深く考えないで行動したりしてしまう。また、教師の顔をうかがったり損得で判断したりする児童の姿も見られる。

(2) 本時の指導について

【年間指導計画の工夫】

自ら正しいと信じるころに従って主体的に行動できる児童を育てるために、情報モラル(ネット情報の良し悪しを主体的に判断する)と関連付けた指導をする。

ネットモラル検定などのワークシートを活用して、児童のネットモラルの知識の向上を図る。授業後には、本時の内容に関わるワークシートを使ってソーシャルスキルトレーニングを行い、望ましいスキルを身に付けるようにさせ、自己の振り返りとソーシャルスキルトレーニングを用いて、評価につなげたい。

【指導方法・指導形態の工夫】

主人公の気持ちに迫るために、役割演技を行い、勇気を出して自分の気持ちを言った時の主人公の気持ちを客観的に考え、交流する場を設ける。この時、自分の考えを述べたりその仲間の意見に自分の考えを付け加えたりし、対話的な学びになるようにする。

【学習環境の工夫】

自分を振り返る場面で、日常生活の中で、似た経験を写真に撮り大型テレビに映し、振り返るための足がかりにする。

3 本時のねらい

勇気を出して、自分の気持ちを伝えることの大切さに気付き、自分がよいと思うことを自信をもって行おうとする心情を育てる。

4 本時の展開

※ICT活用について

	過程の目標	主な学習活動	指導・援助
つかむ	○本時のねらいとする価値を知る。	1 勇気を出して自分の気持ちを伝えられた経験, 伝えられなかった経験について聞く。	・価値の方向付けをする。
ふかめる	○あらすじを知り, 感想をもつことができる。	2 主人公の気持ちが分かるところに資料の範読を聞き, 気持ちの分かるところに線を引いて発表する。 ・わたしの絵なのに・・・ ・うさ子は, おもいきって, 大きな声でいいました。	・線を引きながら, 聞いているか確かめながら読む。 ・人間理解及び価値理解に関わる部分に線が引けている児童を見つける。
	○うさ子が描こうとする絵には, おじいさんと思う気持ちが込められていることに共感できる。	3 うさ子の気持ちを考える。 ○「そうだ. おじいさんの絵をかいてあげよう。」といううさ子の気持ちを考えよう。 ・おじいさんのためにがんばってかくぞ。 ・大好きなおじいさんの絵だからじょうずにかくぞ。	・大切なおじいさんに, 自分の描いた絵を届けたいがぼんたに素直に言えないうさ子の心情を理解させる。
	○自分が良いと思うことは進んで行うことの大切さに気づくことができる。	○「わたしの絵なのに・・・」とつぶやくうさ子はどんな気持ちなのだろう。 ・ぼんたに正直に言えないな。 ・ぼんたが描いた絵を届けてもおじいさんはうれしくないだろうな。・・・でも, 言えないな。 ・自分の描いた絵で, おじいさんを喜ばせたいな。 ◎「うさ子ちゃん, おじいさんにその絵をあげるの?」と, ちゅんきちに言われじっと絵を見ていた, うさ子の気持ちを考えよう。 ・これをあげても, 自分がうれしくないな。 ・やっぱり, 自分の絵をあげたいな。 ・「やめて」と言えばよかったな。 ・やっぱり, 自分の気持ちを伝えよう。	※大型テレビにうさ子の顔を映し出し, 表情からも考えるようにする。 ・ここで, やめて欲しいと言うことができないうさ子の弱さも押さえる。 ・「ぼん太君, おじいさんが・・・」「うさ子ちゃん, ごめんね。」に続く言葉を中心に役割演技を行う。 ・自分の思いをぼんたに言えなかった弱さと思いを言えた気持ちを比較させて, 自分の正しいと思うことを伝える気持ちの良さに気付く。
○今までの自分を振り返ることができる。	○「うさ子はぼんたの顔をみてにっこりしました。」このときの心の中を話してみよう。 ・ぼんたくんが, 謝ってくれてうれしかった。 ・自分の気持ちを言うことができてよかった。	※大型テレビに日常生活の中で, 似た場面を映し, 振り返ることできるようにする。	
まとめる	○正しいと思うことを貫く気持ちをもつことができる。	4 自分が正しいと思うことを言えたことや言えなかったこと, またそのときの気持ちを書く。 ・給食当番の子が準備を急いでいなかったことを見ても, 何も言えなかった。友だちに何か言われるのが嫌だ。 6 教師の説話を聞く。 ・正しいと思うことを, 勇気を出して自分の気持ちを伝えることができて, 心が軽くなった経験を話す。	・教師の体験から, 勇気を出して話してよかったことを話す。



あなたなら どうする？

2年（ ） ばん 名前（ ）

まことさんは、同じクラスの男子たちと、休み時間はよくサッカーをしています。この日もうんどう場で、サッカーをすることになりました。サッカーはたのしいし、みんなとできるのもうれしいのですが、いつもまことさんはキーパーしかやらせてもらえません。しかし、まことさんは、たまにはキーパーいがいをやりたいと思っています。

でも、今日もまた、「まことさん、今日もキーパーやるよね。」と言われてしまいました。

☆あなたならどうする？

- 1、「キーパーしかできないのなら、今日はやらない。」と言う。
- 2、がまんをしてキーパーをする。
- 3、だれかに、キーパーはやりたくないことを、そうだんする。
- 4、「たまには、キーパーいがいをやらせて」と はっきり伝える。



りゆう
